

# 総務教育常任委員会資料

(平成23年10月7日)

〔 件 名 〕

- ・ より効果的な情報発信の取組みについて 【未来戦略課】・・・1
- ・ 「とっとり県政だより」電子書籍版の刊行について 【広報課】・・・4
- ・ 第1回鳥取力創造運動推進プロジェクトチーム会議の開催結果について  
【鳥取力創造課】・・・5
- ・ 第1回ボランティアシステム検討プロジェクトチーム会議の開催結果  
について 【鳥取力創造課】・・・6

未来づくり推進局

## より効果的な情報発信の取組みについて

平成23年10月7日  
未来戦略課

マスメディアを利用した広告展開、新たなITツールの活用、イベントの実施など、本県の魅力の情報発信について、より効果的なものとするため、その効果を測定しながら取組みを進めていく。

### 1 情報発信の手法と効果測定の内容

今後、次表に掲げる効果測定を実施し、その結果をフィードバックして継続的に改善を図ることによって事業効果をも高める。

情報発信の手法		効果測定の内容	
		即時データ（媒体資料等）	事後データ（話題性等）
A	・報道資料提供 ・営業訪問	・記事掲載・番組採用の分量（広告媒体料金換算） ・発行部数・視聴率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジン登録者数の増加</li> <li>・フォロワーの増加</li> <li>・ウェブサイトへのアクセス件数の増加</li> <li>・ツイートの数</li> <li>・ブログ書込み数</li> <li>・県産品売上増（実施前後の比較）</li> <li>・観光入込客数の増加（実施前後の比較）</li> </ul>
B	・インターネット（雑学本舗、Toritter等）	・登録者数 ・フォロワー数	
C	・広告掲載 ・番組放送	・発行部数・視聴率 ・プレゼント企画の反応 ・問い合わせ件数	
D	・イベント開催（単発・特定地域限定）	・来場者数 ・来場者アンケート	
E	・キャンペーン実施（一定期間）	・参加者数 ・参加者アンケート	

※実際の情報発信に当たっては、A～Eを組み合わせる展開している。（例：DEの事前告知のためにABCを実施。Bを通じて、Dの開催状況を広く周知など）

※アンケートについては、例えば、東京本部では随時実施し、結果をイベントの企画実施に反映させている。

#### <情報発信の最終的な目標>

- ・県産品の売上、観光入込客の継続的な増加
- ・認知度・ブランドイメージの向上

#### [参考]

- ・(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査」の調査指標「魅力度」（平成23年都道府県順位41位）
- ・(株)日経リサーチ「地域ブランド戦略サーベイ」地域ブランドランキング（平成22年43位）

## 2 今後の取組方針

- (1) 1の取組みにおいては、基礎的なデータの収集と分析を絶えず実施し、変位を把握しながら、以降の展開に反映する。
- (2) インターネットを活用した手法（ブログ書込み数、ツイートの数等）による分析を行うとともに、情報の受信者の本県に対する印象、観光魅力、期待などについて調査し、その結果を反映させながら情報発信手法の改善を図る。（インターネット調査による変位の把握と手法の改善）
- (3) 効果測定の結果は、情報発信以外の影響も受け因果関係が判然としないこともあるため、県外本部等の現場感覚を踏まえつつ活用する。
- (4) 展開内容については、関係部局の情報発信と重複したり、全体でみて展開すべき内容が欠落したりすることのないように、また、単発的ではなく副次的有機的に組み合わせて相乗効果が高まるように、各所属の実務担当者による情報発信担当者会議等で情報共有を図っているが、さらに今後の情報発信に係る企画立案に当たっては、次の「5T」を確認することを徹底する。

### ア Theme（テーマ）

マスメディアや県外者の注目を集めることのできる題材・素材、話題とする工夫。

<例：最近の情報発信テーマ「5G」>

- (ア) Gegege：ゲゲゲの勢いの継続・発展、マンガ王国の機運醸成
- (イ) Gateway：北東アジアゲートウェイ構想（環日本海国際定期貨客船、米子-ソウル国際定期航空便等の海外との交通インフラの充実）
- (ウ) Geo-park：山陰海岸ジオパーク（昨秋GGN加盟。魅力度・認知度の向上。）
- (エ) Groumet：食のみやこ鳥取県（次世代鳥取梨、とろはた、オレイン55）
- (オ) Green：ガイナレ鳥取、環境立県（EV、自然エネルギー）、二十世紀梨、鳥取方式芝生化

### イ Target（ターゲット）

題材・素材、媒体・手法が対象とするエリア、属性（個人・グループ、ファミリー、団体のいずれか等）に合致しているか。

<例：対象とする地域（三大都市圏）ごとの特性>

- (ア) 関西圏・中京圏：意外に短時間で快適・安価に移動できる鳥取自動車道、特急列車での来県を促進するための自動車ユーザー向・鉄道旅行者向の情報発信。県産品の消費・販売を促進するための消費者・市場関係者向の情報発信。
- (イ) 首都圏：航空便利用の国内インバウンド旅客向の情報発信。ブランドイメージづくりのための出版社・放送局等メディアを通じた情報発信。（別紙：最近の主な新聞掲載例）

### ウ Timing（タイミング）

編成・編集スケジュール、受け手の日常生活等に照らして、採り上げられ注目されやすい時期か。

<例：情報発信を強化する時期>

- (ア) 掻き入れどき：ゴールデンウィーク、夏休み、秋の行楽シーズン、年末年始、春休み
- (イ) 冬季閑散期：12～2月（航空便利用促進）

### エ Taste（テイスト）

デザイン、レイアウト、キャッチコピー等は、上記ア～ウに照らして適切か。鳥取県のブランドイメージ向上につながるか。

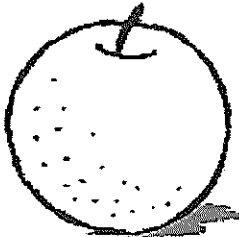
### オ Technology（テクノロジー）

ウェブサイトやソーシャルメディア（ツイッター等）との連動が図られているか。

首都圏における最近の主な新聞掲載例

○8月26日(金) 朝日新聞全国版(夕刊)全5段モノクロ(テーマ:「なつひめ」「新甘泉」)

新しい梨、  
あります。  
from 鳥取県



**新** なつひめ、新甘泉。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。

**★** なつひめ、新甘泉。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。

**●** なつひめ、新甘泉。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。鳥取県産の梨は、夏に旬を迎える。

お問い合わせ: 0859-22-1111

http://www.natsuhime.jp/

「佳のあやこ鳥取プラザ」開業3周年記念フェア開催

8月26日(金)～29日(月) 10:00～20:00

会場: 鳥取県鳥取市東山町1-1-1 佳のあやこ鳥取プラザ

お問い合わせ: 0859-22-1111

○9月30日(金) 朝日新聞東京本社版(夕刊)全5段モノクロ(テーマ:「鳥取和牛オレイン55」)



## 鳥取和牛 オレイン55

鳥取から広がる  
和牛遊びの新基準

「鳥取和牛オレイン55」は、鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。

オレイン55は、鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。





**一流シェフも絶賛**

鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。

**食のみで鳥取プラザ**

鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。

鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。鳥取県産の和牛を、クリップトップクラスの生産者に飼育してもらった、鳥取県産の和牛。

お問い合わせ: 0859-22-1111

http://www.tottori-plaza.jp/

# 「とっとり県政だより」電子書籍版の刊行について

平成 23 年 10 月 7 日

広 報 課

毎月発行している県広報紙「とっとり県政だより」の読者層拡大のため、パソコンはもとより利用者が急増しているスマートフォンやタブレット端末でも閲覧できる電子書籍版を平成 23 年 10 月号から開始しました。(URL : <http://www.pref.tottori.lg.jp/kenseidayori/>)

## 記

(県政だより 電子書籍版)

### 1 提供開始日

9 月 2 9 日 (木)

鳥取県公式ホームページ「とりネット」から閲覧することが可能。  
また、RSS を購読するアプリケーションを使用することで、毎月の更新が把握可能。

※「RSS」とは、ホームページなどの更新情報をまとめて配信する機能。

### 2 電子書籍版について

#### (1) 「電子書籍」とは

印刷物ではなく、電子機器のディスプレイで読むことができる出版物。

#### (2) 電子書籍の一般的な特徴

- ・スマートフォンなどにより移動中などに手軽に閲覧ができる。
- ・本文中のリンクをクリックすることで、関係するホームページの閲覧も可能。
- ・本文中の文字検索が可能。
- ・文字サイズの拡大にも対応。
- ・ツイッターなどのアカウントを持っていれば、電子書籍上から記事についてつぶやくことができ、記事の拡散が可能。

#### (3) 本県での特徴

全てのスマートフォンで機種等の制約を受けず閲覧できる都道府県広報紙の電子書籍版は全国初。  
(他県の導入例では、旧機種や専用アプリケーションをインストールしていない機種では閲覧できない場合がある)

### 3 今後の予定

電子書籍の特長を活かし充実させていく予定。

例：記事に関連する動画や音声の掲載など。

## <参考>

#### (1) 他県の広報紙における電子書籍導入状況 (9 月現在)

岩手県、秋田県、茨城県、山梨県、滋賀県、島根県、広島県、長崎県

#### (2) 「とっとり県政だより」の概要

- ・ A 4 判、20 ページ、フルカラー
- ・ 208,000 部/月、毎月発行
- ・ 市町村を通じ配布しているほか、県の総合事務所・ローソン・金融機関等に配架



# 第1回鳥取力創造運動推進プロジェクトチーム会議の開催結果について

平成23年10月7日

鳥取力創造課

今年度より、地域づくり活動における現状や課題を把握し、活動における課題解決策をみんなで考える「出前鳥取力創造トーク」（県内5カ所ので各3回程度開催）を新たに実施している。

この出前鳥取力創造トーク等で出された意見を検討材料にして、様々な主体が協働・連携して新たな地域づくりに取り組む鳥取力創造運動の展開方策について検討するため、各分野の有識者を中心に参加いただく「鳥取力創造運動推進プロジェクトチーム」（鳥取力創造キャビネット）を以下のとおり開催した。

1 日 時：平成23年8月31日（水）午後3時30分～午後5時

2 場 所：県庁第2庁舎4階 第33会議室

3 メンバー

(1) 地域活動に携わる有識者：まちづくり、住民自治、福祉、商工等の各分野で活動されている方々

(2) 支援機関：鳥取大学地域学部、とっとり地域連携・総合研究センター ほか

(3) 行政：県、市町村

4 議 題

- 報告事項 (1) 平成23年度鳥取力創造運動の取組みについて  
(2) 平成23年度新しい公共支援事業の取組みについて  
(3) 出前鳥取力創造トークの状況について

■意見交換 活動団体が抱える悩みを共有し、どのような支援ができるのかを議論

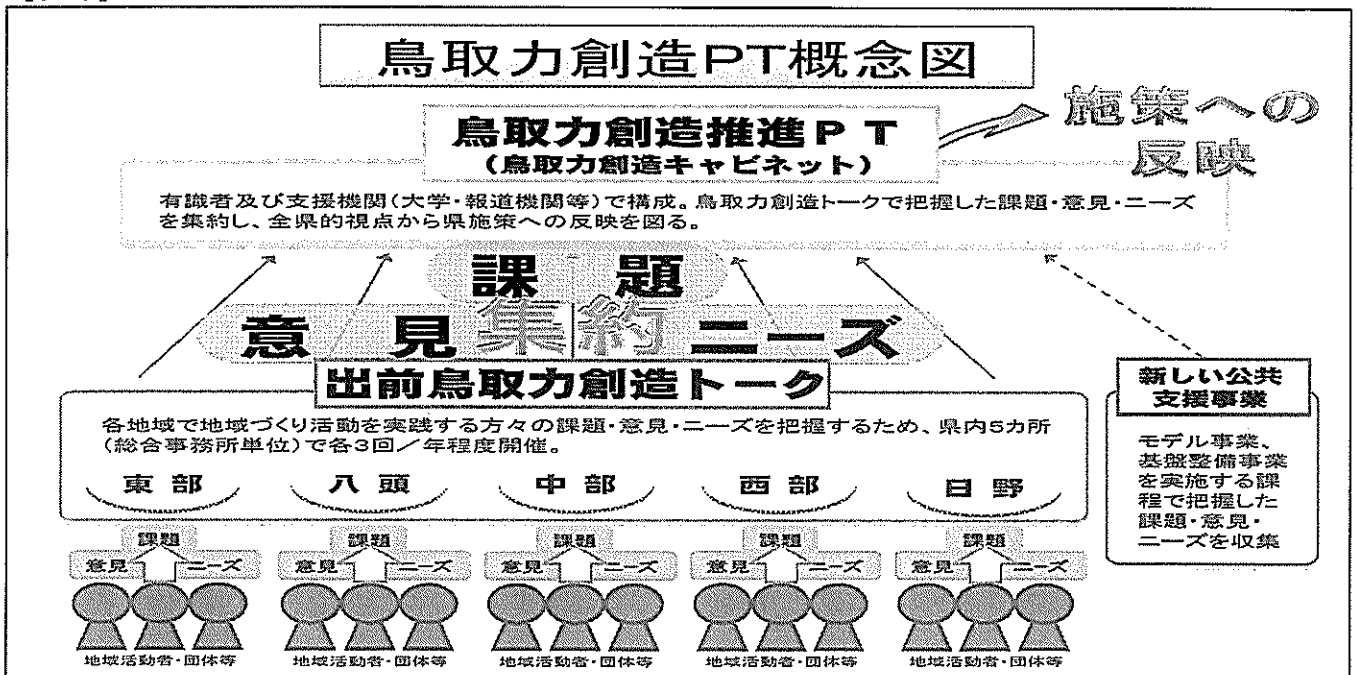
5 主な意見

- 県として大まかなテーマを打ち出して、鳥取力創造運動に一定の方向性を示してはどうか。
- 中国5県で中間支援組織がないのは鳥取県だけ。小さな団体、ニッチな活動（あまり知られていない活動）にも手をさしのべるような仕組みが必要。
- 30代、40代の若い世代が地域とつながりを持つきっかけとして、経済団体や企業が地域づくりに関われる仕組みを考えてはどうか。
- 活動の持続性ということを考えると、ソーシャルビジネス（高齢化問題など様々な社会的課題に向き合い、ビジネスを通して解決しようとする活動）の観点が必要。新しい産業を作っていくという意識を持つべき。
- 鳥取力創造運動はわかりにくく、周知の必要がある。新しい公共モデル事業等を材料に、鳥取力とはこういうものだというようなモデルをPRしていくことが必要。

6 今後の予定

第2回	11月	課題に対する施策の企画・提案
第3回	1月	平成24年度の取組の方向性の総括

【参考】



## 第1回ボランティアシステム検討プロジェクトチーム会議の開催結果について

平成23年10月7日

鳥取力創造課

本県のボランティア活動における現状及び課題を踏まえ、県民のボランティア活動への参加を促進するため、総合ボランティアバンク及びとっとりシニア人財バンクの開設等について検討を行う「ボランティアシステム検討プロジェクトチーム」を設置し、第1回会議を以下のとおり開催した。

1 日時：平成23年8月31日（水）午後2時10分～3時20分

2 場所：県庁第2庁舎4階 第33会議室

### 3 メンバー：

#### (1) ボランティア活動関係者

中国電力株式会社 鳥取支社、特定非営利活動法人学生人材バンク、  
鳥取市ボランティア・市民活動センター、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会、  
鳥取県立湖陵高等学校、日野ボランティアネットワーク、  
社会福祉法人こうほうえん、特定非営利活動法人こども未来ネットワーク ほか

#### (2) 地域活動者

株式会社マイスター、特定非営利活動法人地域福祉ネット ほか

#### (3) 学識経験者

株式会社新日本海新聞社、財団法人とっとり地域連携・総合研究センター、  
鳥取短期大学

#### (4) 行政機関

境港市、三朝町、鳥取県

### 4 議題：

- ・県全体のボランティア活動及び支援に関する現状と課題
- ・総合ボランティアバンクの基本コンセプトと必要とされる主な機能の検討

### 5 主な意見：

- ・総合ボランティアバンクができれば、情報の一本化、横との連携などが図られ、ボランティアをしたい人、ボランティアセンターにとってわかりやすく、利便性が向上する。
- ・広域的な活動についての相談があった場合、マッチング等でいろいろ市町村のボランティアセンターに連絡するといったことが少なくなると思う。
- ・ボランティアをしたい人向けに、ボランティアの心構え、理解を深めるといった講座が不足しているため、(そういった講座等実施する)案に期待したい。
- ・ボランティアに関心があるが参加できていない人を支援し、ボランティアを活性化する機能が必要なのではないか。
- ・ボランティアバンクへの情報源となる、個々の地域ごとのボランティアセンターがまずは、しっかりし、細かいニーズを把握することが必要。
- ・ボランティアバンクの機能を限定するなどコンセプトを明確に整理しておくことが必要。

### 6 今後の予定：

区分	時期	内容
第2回	10月	総合ボランティアバンクの個別機能の詳細設計と設置方法等についての検討
(予備)	11月	
第3回	1月	来年度計画の報告等